

問1 律令制下の日本において、主に東国の農民から徴兵され、九州北部の沿岸警備を担当した「防人（さきもり）」について述べた文として、正しいものはどれか。（2024年 千葉県公立入試 類似）

1. 任期は3年とされ、武器や食料などは兵士自身の負担であったため、農民にとって極めて重い負担となった。
2. 都の警備を目的として平城京の門などに配置され、1年間の任期を終えた後は租税がすべて免除された。
3. 東北地方の蝦夷（えみし）の抵抗に備えるため、多賀城などの城柵に配置された精鋭の志願兵であった。
4. 白村江の戦いでの敗北後、天皇の住まいを警護するために大津宮の周辺に集中的に配置された。

問2 8世紀の日本における政治と文化の特色について述べた文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。（2022年 京都公立入試 類似）

1. 聖武天皇が仏教による国家の安定を願い、東大寺の大仏建立を進めた。この時期には国際的な色彩が強い天平文化が栄え、その遺品は正倉院に伝えられている。
2. 桓武天皇が新しい仏教である天台宗や真言宗を保護し、平安京を中心に、貴族の好みを反映した国風文化が大きく発展した。
3. 推古天皇が摂政の聖徳太子とともに仏教を広め、法隆寺に見られるような日本で最初の仏教文化である飛鳥文化を築いた。
4. 後三条天皇が摂関家を抑えて実権を握り、地方から台頭した武士たちの気風を反映した力強く素朴な武家文化が成立した。

問3 奈良時代の平城宮跡からは、当時の税制度の実態を示す史料が多数発見されています。地方から都へ送る産物に付けられた荷札として、送り主の住所や品目などが記された木製の板を何と呼びますか。（2015年 佐賀公立入試 類似）

1. 木簡
2. 年貢
3. 関銭
4. 鉄券

問4 奈良時代の日本は、中国の王朝である唐へ使節を派遣し、優れた政治の仕組みや文化を取り入れようとしてきました。この使節団が、西アジアやインドなど広範な地域の文化を日本へもたらすことになった地理的・歴史的な背景として、最も適切な説明はどれですか。（2026年 群馬公立入試 類似）

1. 唐がシルクロードを通じた東西貿易の拠点であり、国際色豊かな文化が都の長安に集まっていたため
2. 鑑真などの僧侶が、西アジアの最新の建築技術を日本に伝えるために計画的に宝物を持参したため
3. モンゴル帝国がユーラシア大陸を支配したことで、陸路を用いた東西の直接交流が活発化したため
4. 朱子学の普及により、外来の思想や学問を広く受け入れる合理的な精神が日本国内で高まったため

問5 飛鳥・奈良時代の政治の仕組みや社会の変化について述べた文として、正しいものはどれですか。（2022年 群馬県公立入試 類似）

1. 大宝律令によって全国を統一する法制度が整った後、聖武天皇は社会不安を鎮めるために国分寺の建立を命じた。
2. 聖徳太子が国分寺を建立して仏教を広めた後、その精神を引き継いで大宝律令が制定された。
3. 国分寺が建立されて仏教政治が極まった結果、その反省から十七条の憲法が制定され、役人の道徳が問われるようになった。
4. 大宝律令によって土地の私有が認められたため、その富を利用して地方の豪族が独自に十七条の憲法を作成した。

問6 8世紀の日本の特色をまとめた記述において、当時の文化は「大陸の影響を受けた国際色豊かな文化」と表現されます。この文化を象徴する正倉院に収蔵されている宝物の特徴として、最も適切なものはどれですか。（2017年 福岡県公立入試 類似）

1. ペルシャ風の様式やガラス製品など、西アジアや唐の影響を受けた品々
2. 平安京への遷都以降に発達した、日本独自の風土や感覚に基づいた品々
3. 禅宗の影響を受け、武士の精神性を反映した簡素で力強い品々
4. ヨーロッパからの宣教師によってもたらされた、活版印刷機やキリスト教関連の品々

問7 現存する日本最古の和歌集であり、天皇から貴族、そして農民まで幅広い層の歌が収められている資料があります。この中には、九州北部の警備のために東国などから派遣された兵士たちが、家族との別れを惜しんで詠んだ歌も含まれています。この和歌集の名称と、派遣された兵士の名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2026年 山梨公立入試 類似）

1. 万葉集と防人
2. 古今和歌集と武士
3. 新古今和歌集と足軽
4. 万葉集と遣隋使

問8 奈良時代の中頃に出された「墾田永年私財法」は、それまでの「公地公民」の原則を大きく変えるものでした。この法律が制定される直接的な背景となった、当時の社会状況の説明として正しいものを選んでください。（2026年 岡山公立入試 類似）

1. 人口が増加して政府が農民に与える口分田が不足し、農民の労働意欲が低下して田畑が荒廃したため。
2. 聖徳太子が十七条の憲法を制定したことにより、貴族が自分の土地を持つ権利が法的に保障されたため。
3. 三世一身の法によって土地の私有が永久に認められた結果、有力な農民がさらに広い土地を求めたため。
4. 唐から伝えられた新しい農業技術を普及させるために、農民に土地の所有権を与えて管理を任せる必要があったため

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 任期は3年とされ、武器や食料などは兵士自身の負担であったため、農民にとって極めて重い負担となった。	白村江の戦い（663年）での敗北を受け、唐や新羅による侵攻を恐れた大和政権は、九州北部の沿岸警備を強化するために防人を配置しました。防人は主に東国の農民から徴兵されましたが、九州までの往復の旅費や現地での食料、武器までもがすべて自己負担であったため、兵士とその家族の生活は非常に苦しくなりました。なお、都の警備を担当したのは「衛士（えじ）」です。
問2	<b>答え 1</b> 聖武天皇が仏教による国家の安定を願い、東大寺の大仏建立を進めた。この時期には国際的な色彩が強い天平文化が栄え、その遺品は正倉院に伝えられている。	聖武天皇が治めた奈良時代の中頃は、遣唐使によってもたらされた唐の文化や、シルクロードを通じた西アジアの影響を強く受けた天平文化が全盛期を迎えました。天皇は仏教の教えによって政治的な混乱や社会不安を鎮めようとし、その意志が国分寺の建立や大仏造立に表れています。正倉院には聖武天皇ゆかりの品々が多数納められており、当時の高度な技術や国際交流の様子を現在に伝えています。他の選択肢は、平安時代や飛鳥時代、中世の状況を説明したものです。
問3	<b>答え 1</b> 木簡	奈良時代の平城京などから出土する木札は木簡と呼ばれ、紙が貴重だった当時、荷札や伝言、記録用のメモとして広く活用されていました。特に地方から都へ納められる「調」などの税に付けられた木簡には、現在の佐賀県にあたる肥前国から「綿」が送られたことを示す記録などが残されており、律令国家の徴税の仕組みを裏付ける貴重な史料となっています。
問4	<b>答え 1</b> 唐がシルクロードを通じた東西貿易の拠点であり、国際色豊かな文化が都の長安に集まっていたため	当時の唐の都である長安は、シルクロードの東の起点として世界各地から人々や物資が集まる国際都市でした。日本から派遣された遣唐使は、唐の優れた律令制度とともに、これら諸外国の文化や工芸品を日本に持ち帰ったため、日本の貴族文化の中に国際的な要素が色濃く反映されることとなりました。
問5	<b>答え 1</b> 大宝律令によって全国を統一する法制度が整った後、聖武天皇は社会不安を鎮めるために国分寺の建立を命じた。	日本では7世紀に聖徳太子が十七条の憲法を制定して官僚の意識改革を行い、8世紀に入ると大宝律令の制定によって天皇を中心とする行政・司法の仕組みが完成しました。しかし、奈良時代中期には疫病の流行や政情不安が続いたため、聖武天皇は仏教の力で国を守る「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺・国分尼寺を建立し、東大寺に大仏を造立しました。出来事の前後関係と、それぞれの政策の目的を理解することが重要です。
問6	<b>答え 1</b> ペルシャ風の文様やガラス製品など、西アジアや唐の影響を受けた品々	聖武天皇の時代の文化は天平文化と呼ばれ、唐の文化や仏教が強く影響していました。正倉院の宝物には、遠く西アジアからシルクロードを渡って伝わった工芸品が多数含まれており、当時の日本が国際的なネットワークの終着点であったことを示しています。桓武天皇による平安遷都後の国風文化とは区別が必要です。
問7	<b>答え 1</b> 万葉集と防人	万葉集は奈良時代末期にまとめられた日本最古の歌集です。この中には、唐や新羅といった大陸勢力からの侵攻に備えて九州北部の防備にあたった「防人（さきもり）」の歌が収められています。防人は主に東国から徴用されたため、故郷に残す家族を思う切ない心情を詠んだ「防人歌」は、当時の人々の生活や感情を知る貴重な史料となっています。
問8	<b>答え 1</b> 人口が増加して政府が農民に与える口分田が不足し、農民の労働意欲が低下して田畑が荒廃したため。	律令国家の基本である「公地公民」のもと、農民には口分田が与えられていましたが、人口増加に伴い土地が不足しました。政府は当初、三代に限り私有を認める「三世一身の法」を出しましたが、期限が来ると土地を返す必要があるため農民の意欲が上がらず、開墾が進みませんでした。そこで、期限をなくし永久に私有を認める「墾田永年私財法」を制定することで、開墾を促進しようとしたのです。